

CM選奨 2023募集要項

＜はじめに＞

CM選奨2023の実施にあたり、募集要項を以下の通り改定しました。

- ① 最優秀賞を取りやめとし、優秀賞及び特別賞の対象を充実。
- ② 応募書類を従来の上限10ページを7ページに縮減し、応募者の負担を軽減。
- ③ 1者からの応募件数を、従来上限5件から3件に変更。
- ④ 新たな表彰の枠組みとし、「CMチャレンジ奨励賞」を創設。CM選奨の登竜門として主に小規模CM等を募集。

※小規模CM等とは、戸建住宅、店舗・事務所等併用住宅、短期的あるいは狭小範囲のマネジメント手法を対象とし、対象プロジェクトの施設規模で選り分けるものではない。

1. 目的・対象・表彰

【目的】	日本におけるコンストラクション・マネジメント(CM)に関する業績を幅広く募り、優れた成果をあげた事例を選奨して、CMの普及発展、健全な建設生産システムの再構築、倫理観を持ったプロフェッショナル育成に資する。	
【対象】	公共・民間、土木・建築、住宅・非住宅、新築・改修、建設分野のコンサルティングなど、CMの領域において優れた成果をあげたプロジェクトを対象とする。 専業 CM の業績に限定せず、設計者、総合建設業者、専門工事業者等、プロジェクトに参画する多様な職能による CM の実践事例も含む。	
【表彰】	■ CM選奨 CM選奨 CMの手法を活用し、良好な成果を上げた業績を対象とする 優秀賞 選奨を受けた事例の中で、総合的に優れた成果を上げた業績を対象とする 特別賞 選奨を受けた事例の中で、優れた特徴を持つ業績を対象とする ■ CMチャレンジ奨励賞 奨励賞 小規模CM等でCM手法を活用し、良好な成果を上げた業績を対象とする	

2. 審査の視点

本選奨はCMの普及発展、健全な建設生産システムの再構築、倫理観を持ったプロフェッショナル育成に資する事を目的とし、審査は以下の視点から行う。(日本CM協会発行の「CMガイドブック第3版」記載の業務体系等を参考とされたい。)なお、評価の対象はマネジメント手法であり、プロジェクト自体の“規模”や“作品性”は審査の主要な視点とはしないので、留意されたい。

【発注者ニーズに対する理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・CMRは、発注者から何を期待されていると理解したか ・発注者の期待に対して、CMRが参加することの利点、CMRの役割等をどのように提案したか
【プロジェクトの目標設定と CMRの目標設定】	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者の期待をCMRとしてどのように整理し、プロジェクトの目標をどのように設定したか ・設定されたプロジェクトの目標に対して、CMRの業務目標と業務スコープをどのように設定したか
【課題の抽出と取り組み手法】	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて、CMRだけでなく設計者・施工者等を含むプロジェクト関係者全体を俯瞰して、より具体的な課題をどのように抽出したか ・抽出された課題の解決に向けて、どのような取り組み手法を提案し、どのように関係者との協力体制を築いたか、また自ら実行したか
【目標達成度とプロセス評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの目標の達成度、CMRの業務目標の達成度、取り組み手法の有効度をどのように評価できるか ・発注者及びその他のプロジェクト関係者は、CMRの業務成果とプロセスをどのように評価しているか

3. 応募方法

【応募資格】	<ul style="list-style-type: none">・応募プロジェクトに関わるCM業務の委託者、当該プロジェクトの目的物に所有権を有する者、その他応募資料の開示等に関して利害関係を持つ者等、応募者が同意を得る事が必要と考えられる関係者の同意を得て応募するもの。・日本 CM 協会の会員資格の有無を問わない。・業務を完了し、契約上の責務を終結した時から応募の時までの期間が 3 年を超えないもの。・同一応募者からの応募件数は 最多 3 件までとする(法人・組織に所属する個人が応募する場合、所属する法人・組織からの応募数と合算する。)例えば、CM選奨の応募 2 件とCMチャレンジ奨励賞の応募 1 件の合計 3 件の応募は可能であるが、CMチャレンジ奨励賞の応募事例はCM選奨の審査対象にはならない。また、CM選奨の応募事例は、CMチャレンジ奨励賞の審査対象とはならない。・過去に応募歴のある事例の再応募も可とする。
【応募方法】	<ul style="list-style-type: none">・応募受付期間は、2022 年 10 月 11 日(火)～2022 年 11 月 25 日(金) (当日消印有効)とする・応募予定者からの募集要項及び応募書式についての質疑は、CM選奨事務局 sensyo@cmaj.org 宛に e-mail で送付のこと。・質疑受付期間:2022 年 10 月 11 日(火)～2022 年 10 月 21 日(金)厳守・回答は日本CM協会ウェブサイトに掲載する。回答掲載予定:2022 年 10 月 25 日(火)・メールタイトルと本文冒頭に【CM選奨 2023:質問】_所属会社(組織)_担当者名を明記のこと。・質問が複数ある場合は、質問番号を付与する。・回答は、同じ内容をまとめて回答する。質問者の氏名は公開しない。・電話やFAXなど e-mail 以外での質問と受付期限以降に到着した質問には、原則お答えできないので、留意のこと。・日本 CM 協会ウェブサイトから「CM 選奨応募書式 2023」をダウンロードし、必要事項を記入する(説明本文は日本語とする)・応募書類は追加資料を含め、A4 サイズ 7 ページを上限とし、下限の制限は無とする。(7 ページを超える応募書類は審査対象としない)。・CMチャレンジ奨励賞への応募書類は上記の 7 ページを 4 ページと読み替える。詳細は、CMチャレンジ奨励賞応募書式による。・応募書類一式のコピー 1 部(クリップ止めとし、ホチキス止めやパネル化は行わない)と、同内容の PDF データ、添付写真の JPEG データ、添付図面の PDF データを収録した CD-R ディスク 1 枚を下記宛に郵送する。 〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館6階 (一社)日本コンストラクション・マネジメント協会 CM選奨事務局・応募書類および同内容を収録した CD-R ディスクは返却しない。

4. 審査方法、審査委員

【審査方法】	<ul style="list-style-type: none">・審査委員会は、2022年12月～2023年2月の間に開かれる 標準とする審査フローは以下の通り○第1回審査委員会<ul style="list-style-type: none">-応募資料を各審査委員へ手交し、「2.審査の視点」に基づき、採点要領の確認、各審査委員間に おける評価の目線合わせを行う。-各審査委員にて、応募資料の読み込みと第1次審査を開始する。○第2回審査委員会<ul style="list-style-type: none">-各審査委員の第1次審査結果を開示し全員にて協議し、第2次採点を行い、結果を取り纏める。-第2次採点にもとづきCM選奨候補を選定、さらにCM選奨候補より、優秀賞・特別賞の候補を 選定する。-CMチャレンジ応募資料を各審査委員へ手交し、「2.審査の視点」に基づき、採点要領の確認、各審査 委員間における評価の目線合わせを行う。○第3回審査委員会<ul style="list-style-type: none">-第2回審査委員会で選定された優秀賞・特別賞の候補に対するヒアリングを実施する。-ヒアリング後に審査委員で協議し、優秀賞・特別賞を選定する。-CMチャレンジ奨励賞候補を選定する。・審査委員会は、応募者に追加資料提出、当協会本部でのヒアリング出席を要請する場合がある。 COVID-19の影響でオンラインによる審査会及びヒアリングとなる場合もある為、ヒアリング実施要領に ついては、出席を要請するプロジェクトに対し別途通知する。・追加資料提出、当協会本部でのヒアリング出席に要する費用は応募者の負担とする。・審査委員会の審査結果は、2023年3月の理事会で了承された後に正式決定となる。																														
【審査委員】	(審査委員は追加、変更される事がある) <table><tbody><tr><td>兼松 学</td><td>東京理科大学 理工学部建築学科 教授</td><td><委員長></td></tr><tr><td>金多 隆</td><td>京都大学工学研究科建築専攻 教授</td><td><幹事></td></tr><tr><td>佐藤 俊之</td><td>(株)日刊建設通信新聞社 編集局長</td><td></td></tr><tr><td>篠塚 俊樹</td><td>コンストラクション・マネジメントオフィス川清商店 代表</td><td></td></tr><tr><td>高津 尚悟</td><td>日経BP総合研究所 プロデューサー</td><td></td></tr><tr><td>寺島 敏文</td><td>(一社)日本建設業連合会 常務執行役</td><td></td></tr><tr><td>林 昭兵</td><td>(独)都市再生機構 東日本都市再生本部事業企画部 担当部長</td><td></td></tr><tr><td>二宮 仁志</td><td>(公社)土木学会建設マネジメント委員会、東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 准教授</td><td></td></tr><tr><td>鴨下 順司</td><td>東京電力パワーグリッド(株)用地部FMセンター 所長</td><td></td></tr><tr><td>八木 真爾</td><td>(株)佐藤総合計画 取締役</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※審査委員が応募事例に利害関係を持つ場合は、当該事例の審査には関与しない。</p>	兼松 学	東京理科大学 理工学部建築学科 教授	<委員長>	金多 隆	京都大学工学研究科建築専攻 教授	<幹事>	佐藤 俊之	(株)日刊建設通信新聞社 編集局長		篠塚 俊樹	コンストラクション・マネジメントオフィス川清商店 代表		高津 尚悟	日経BP総合研究所 プロデューサー		寺島 敏文	(一社)日本建設業連合会 常務執行役		林 昭兵	(独)都市再生機構 東日本都市再生本部事業企画部 担当部長		二宮 仁志	(公社)土木学会建設マネジメント委員会、東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 准教授		鴨下 順司	東京電力パワーグリッド(株)用地部FMセンター 所長		八木 真爾	(株)佐藤総合計画 取締役	
兼松 学	東京理科大学 理工学部建築学科 教授	<委員長>																													
金多 隆	京都大学工学研究科建築専攻 教授	<幹事>																													
佐藤 俊之	(株)日刊建設通信新聞社 編集局長																														
篠塚 俊樹	コンストラクション・マネジメントオフィス川清商店 代表																														
高津 尚悟	日経BP総合研究所 プロデューサー																														
寺島 敏文	(一社)日本建設業連合会 常務執行役																														
林 昭兵	(独)都市再生機構 東日本都市再生本部事業企画部 担当部長																														
二宮 仁志	(公社)土木学会建設マネジメント委員会、東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 准教授																														
鴨下 順司	東京電力パワーグリッド(株)用地部FMセンター 所長																														
八木 真爾	(株)佐藤総合計画 取締役																														

5. 受賞候補者への内示、受賞候補者に求められる手続き

【内示】	<ul style="list-style-type: none">・受賞候補となった応募者には、CM選奨事務局から2023年1月末を目途に内示を行う。・受賞候補となった応募者には、<u>2023年3月10日(金)</u>までに以下の【手続き1、2】を完了させて頂く。 なお、期日までに【手続き1、2】が未了の場合は、選考を辞退したものとみなすので、留意のこと。
------	--

【手続き1】 (開示資料作成)	<p>①CM選奨の受賞候補となった応募者には、応募資料に基づき以下の開示用資料を別途、無償で作成、提出いただく。ただし、CMチャレンジ奨励賞は応募書類をそのまま使用するため開示資料の新たな作成は不要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開示用資料はダイジェスト版(A3版タテ1ページ相当)及び詳細版(応募資料の全書式)のPDFデータとし、CM選奨事務局 sensyo@cmaj.org 宛に電子メールで送信する。 ・ダイジェスト版の構成は任意とするが、A2版パネルに拡大して表彰式会場に展示されることを想定し、書式3【基本情報】および書式4の【全体像を伝える図版】は必ず転載し、テーマ1から4の記述内容をバランス良く記載することとする。 ・詳細版は応募の書式3以降全ての開示を原則とするが、関係者の権利保護の必要がある場合は記述の部分的な修正を可とする。 <p>②CMチャレンジ奨励賞を含む全ての応募者およびCM業務の委託者を含むプロジェクト関係者は、提出された開示用資料の著作権の使用を当協会に委託する。ただし、応募者およびCM業務の委託者を含むプロジェクト関係者が自らの用途のために開示用資料を使用することについての制限はない。</p> <p>③CMチャレンジ奨励賞を含む全ての提出された開示用資料の編集出版権は、当協会に帰属する。なお、当協会はCMの普及発展のため、開示用資料の協会機関誌、パンフレット及びウェブサイトへの掲載、CMAJフォーラム等での利用、編集出版等を予定する。また、機関誌へ代表写真を掲載する為、写真撮影者のクレジット表記が必要な場合は、事前にCM選奨事務局まで連絡のこと。</p> <p>④当協会がCM選奨に関して資料開示する際には無断転載禁止を明示するが、万一第三者が無断転載することにより生じる損害等には、当協会は一切責任を負わない。また、開示用資料の利用、編集出版等につき、関係者を含む第三者から異議を唱えられた場合、応募者の負担と責任において処理するものとし、当協会は一切責任を負わない。</p>
【手続き2】 (受賞者名届出)	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞候補となった応募者には、受賞希望者名(表彰状へ記載する名義)を届出いただく。 ・CM選奨事務局から電子メールで送信された書式に受賞希望者名を記入し、CM選奨事務局 sensyo@cmaj.org 宛に電子メールで返信する。 ・受賞希望者名は、原則として発注者及びCMRとし、各者が連名で応募の場合は連名で1者と扱う。

6. 正式通知、表彰事務手数料、表彰式	
【正式通知】	<ul style="list-style-type: none"> ・CM選奨事務局はCM選奨の内示を受け2023年3月10日(金)までに上記5.の手続きを完了された応募者には、2023年4月初旬に表彰の正式通知を行う。
【表彰事務手数料】	<ul style="list-style-type: none"> ・正式通知を受けた応募者には、表彰事務手数料(受賞1件あたり25,000円)を納付していただく ・振込は、正式通知と同時に送付される請求書(PDF形式)に記された口座に2023年5月8日(月)までに完了していただく。
【最終確認】	<ul style="list-style-type: none"> ・正式通知を受けた応募者には、CM選奨事務局からの正式通知と同時に送信された書式に以下の事項を記入して2023年5月8日(月)までにCM選奨事務局 sensyo@cmaj.org 宛に電子メールで返信して頂く。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト名称の変更の有無 ・受賞者名の変更の有無 ・表彰式および交流会への参加予定者氏名 ・表彰式登壇予定者(1名)の氏名 <p>なお、プロジェクト名称および受賞者名の変更の有無に関して期日までに返信が無い場合は、既に届出られた名称で表彰することとなるので、留意されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CM選奨事務局は、上記の手続きの完了を確認した後にCM選奨2023の審査結果を一般公開する。

【表彰式】	<ul style="list-style-type: none">・表彰式は 2023 年 6 月 16 日(金)、建築会館ホールにおいて当協会の定時総会に引き続いで行う。・表彰式では、上記のダイジェスト版を当協会の費用で A2 版に拡大しパネル化して会場に展示する。・展示パネルの保管及び処分は当協会が行う。・表彰式終了後、交流会を開催する。
-------	--

7. 主催・後援

【主催】	一般社団法人 日本コンストラクション・マネジメント協会
【後援】	国土交通省

8. その他

- ・応募数が想定数を大幅に超過した場合は、審査スケジュール等を変更する場合がある。その際には、協会ホームページで告知するとともに応募者に連絡する。
- ・「6.正式通知、表彰事務手数料、表彰式」【表彰式】欄に記載のパネル展示及び交流会は、COVID19の状況等を勘案して、行わない場合がある。